

●主食用米作付面積及び出荷契約数量

単位：戸、a、俵

地区名	出荷契約に基づく内訳			品種内訳									うち水稲 種子面積
	契約戸数	面積	数量(俵)	ななつぼし	きらら397	ほしのゆめ	ゆめぴりか	ふっくりんこ	おぼろづき	ゆきひかり	きたくりん	その他	うるち・もち
滝川地区	77	81,207.80	52,145.0	32,500.0	580.0		17,697.0		214.0		784.0	370.0	
江部乙地区	115	110,670.89	53,859.0	28,336.0	2,215.0		19,209.0		743.0	438.0	1,678.0	1,240.0	19,910.00
赤平地区	58	37,154.80	29,832.0	8,901.0	103.0		19,918.0		235.0		675.0		
芦別地区	113	99,502.39	60,766.0	30,137.0	1,312.0	450.0	17,486.0	10,205.0	91.0	173.0	560.0	352.0	
うるち計	363	328,535.88	196,602.0	99,874.0	4,210.0	450.0	74,310.0	10,205.0	1,283.0	611.0	3,697.0	1,962.0	19,910.00
地区名	契約戸数	面積	数量(俵)	はくちょうもち	風の子もち	きたゆきもち	きたふくもち						
芦別もち	14	15,328.90	12,030.0	6,805.0	3,869.0	922.0	434.0						2,450.00
もち計	14	15,328.90	12,030.0	6,805.0	3,869.0	922.0	434.0						2,450.00
合計	377	343,864.78	208,632										

施設操業状況

・秋小麦（きたほなみ） 七月十九日より受入を開始し、受入重量で約3,046トンの受入となりました。本年度は、なまぐさ黒穂病の発生と七月上旬から中旬にかけての高温障害により未熟粒の発生が多いことから製品歩留まりは約77%となっております。品質面では全量一等麦で製品数量は約2,286トンの調整となりました。

※調整は、生・半乾を本乾にした後に調整

・春小麦 八月四日より受入を開始し、ハルユタカで約228トンの受入、春よ恋で約244トンの受入となり、こちらも高温障害の影響で未熟粒の発生が多いことから製品歩留まりは、ハルユタカで約75%、春よ恋で約67%となっております。品質面では開口未熟が多いことから双方二等麦で製品数量はハルユタカで約161トン、春よ恋は約153トンで八月三十日をもって調整終了いたしました。

・菜種 七月二十七日より受入開始し約596トンを受入し315トンの調整を終了しております。調整作業は八月二日よりソバの受入をする為一時休止し、十一月より再開予定となっております。

・そば 八月二十七日より受入を開始しました。九月五日時点での受入重量は約196トンとなっております。そばの施設受入終了日については十月中旬を予定しております。詳しい日程は後日、販売施設課より連絡がありますのでご確認よろしくお願い致します。

小麦各品種別受入重量

単位/ kg

品種/区分	生	半乾	本乾	品種合計
春よ恋	146,014	21,286	77,563	244,863
ハルユタカ	106,126	43,397	79,087	228,610
きたほなみ	1,872,142	79,087	1,095,006	3,046,235
区分合計	2,124,282	143,770	1,251,656	3,519,708



菜種受入重量

単位/ kg

区分	生	半乾	本乾	合計
計	375,659	14,403	206,688	596,750

